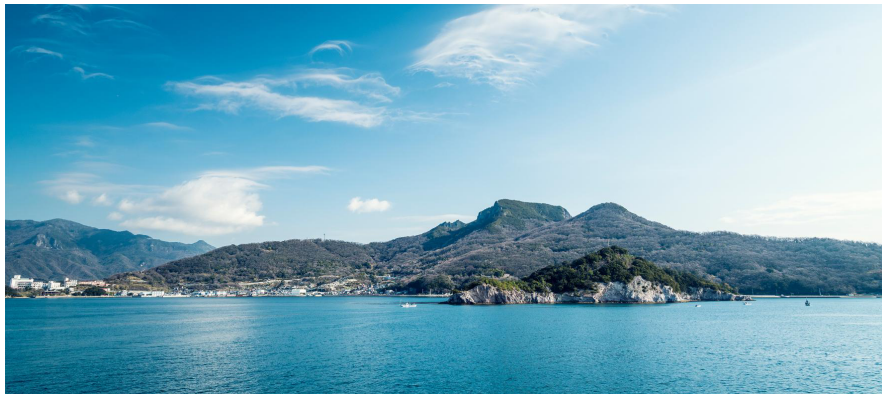


## 観光地の持続可能な発展に向けて 株式会社 JTB が小豆島で行う「エリア開発事業」に参画 ～ 観光地の言葉の壁をなくす ～

ポケットーク株式会社(本社:東京都港区芝二丁目 2 番 12 号 浜松町 PREX4階 代表取締役社長:若山 幹晴)は、株式会社 JTB(代表取締役 社長執行役員:山北 栄二郎、以下「JTB」)が行う「エリア事業開発」に参画し、弊社の AI 通訳機「ポケットーク」や AI 同時通訳「ポケットーク カンファレンス」などの言葉の壁をなくすソリューションが小豆島町の観光現場に導入されることをお知らせします。



小豆島は瀬戸内海に浮かぶ、香川県に属する島です。一年を通じて温暖な気候に恵まれ、自然とグルメ、そして多くのアクティビティを楽しめることから、瀬戸内の人気観光スポットとして知られています。2019年には「瀬戸内の島々」が日本で唯一、ニューヨーク・タイムズが選ぶ「行くべき観光地」に選ばれるなどさらに注目を集め、その中でも2番目に大きい「小豆島」には世界中から多くの観光客が訪れています。

加えて、小豆島町は2021年に、「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS—D)のモデル地区」・「世界の持続可能な観光地 TOP100 選」に選定され、SDGsの先進地域としても注目されています。

世界有数の観光地として盛り上がりを見せる一方で、より持続可能な観光地として発展すべく、JTBが小豆島で行う「エリア開発事業」に参画することで、「言葉の壁をなくす」取り組みを開始いたします。

その取り組みの中で、小豆島内の観光地を巡る無人ボートにAI通訳機「ポケットーク」端末を常備するなど、訪日観光客のシームレスな体験や小豆島の方々との活発なコミュニケーションを実現し、加えて、今後は観光地における災害や緊急時の多言語対応に備えるべく、「ポケットーク カンファレンス」をはじめとする、ソフトウェアソリューションの導入・検討を進めてまいります。

ポケットーク株式会社は、「言葉の壁をなくす」をミッションに掲げ、相手の言葉を話せなくても互いに自国語のまま対話でき、深くわかり合える世界の実現を目指しています。今後もこうした「観光における言葉の壁」に着目し、「ポケットーク」シリーズを世界中に広げてまいります。

## 【 AI通訳機「ポケットーク」とは 】

「ポケットーク (POCKETALK)」は、互いの言葉を話せない人同士が自国語のままでも対話できるAI通訳機です。74言語を音声・テキストに翻訳し、11言語をテキストのみに翻訳できます。クラウド上の最新最適なエンジンとAIを使った翻訳精度の高さが特長で、長い文章も訳せます。Wi-Fiのない所でも世界130以上の国と地域(「ポケットーク S」: 141の国と地域、「ポケットーク W」: 139の国と地域)で、そのまま使えるモバイル通信機能を内蔵し「契約不要、通信料なし(2年間)」で、買ってすぐ使えます。

「ポケットーク」シリーズ(初代、「ポケットーク W」、「ポケットーク S」および「ポケットーク S Plus」を含む)の累計出荷台数(サンプル等除く)は、2017年12月の発売以来、2022年12月時点で100万台を突破しました。

詳細 URL: <https://pocketalk.jp/>



「POCKETALK(ポケットーク) S」

### コピーライト表記について

■製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

©POCKETALK CORPORATION

### お客様お問い合わせ先

■ソースネクスト・カスタマーセンター : <https://pocketalk.jp/support>

■ご購入前相談窓口 : <https://pocketalk.jp/business/contact>

### 本製品に関する報道関係者のお問い合わせ先

■担当 : ポケットーク株式会社 広報

■連絡先 : 「ポケットーク」専用 報道関係者 URL <https://pocketalk.jp/media/>

TEL 050-5533-4605 FAX 03-6254-5236 MAIL [pr@pocketalk.com](mailto:pr@pocketalk.com)